

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【外国語】

1 採択教科用図書

- 開隆堂

2 採択理由

(1) 開隆堂は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元の構成・配列等に関しては各**Program**を「とびら」「**Scenes**」「**Tuning in**」「**Part**」「**Review&Retell**」「**Action**」で構成し、新出表現を繰り返し取り扱うことで確実な基礎・基本の定着が期待される。特に、「**Scenes**」では、マンガ形式や朱書きで新出表現が導入されており、巻末の「**CAN-DO**リスト」が「とびら」に示されている表現とリンクしていることで、自身が1年間を通して身に付けた表現が分かるという工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「**Scenes**」と本文の場面設定が統一され、かつ同じ言語材料を扱うことで使用場面が明確になっている。また、各**Program**における様々な言語活動で活用した表現を「**Our Project**」で統合的・発展的に活用する工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、「とびら」に目標や、単元を通して身につけるべき表現が示されており、生徒自身が確認し、見通しをもちながら学習に取り組めるようになっている。また、各ページの欄外に**Program**における学習の進度を示し、生徒の達成度が分かる工夫が見られる。

(2) 開隆堂は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 「**Review&Retell**」においては、これまで学んだ内容を振り返り、自分のことばで伝える活動が設定されており、これまでの学びや経験を生かす工夫が見られる。
- 「**Our Project**」においては、日本に住む外国人に向けておすすめスポットを紹介するチラシ作りに取り組ませるなど、自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるよう工夫されている。

椎葉村教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、開隆堂の教科用図書が最適であるとして採択した。